

## 2021/7/11-7/17相場見通し

品目		
鉢 花	鉢花	夏場となり入荷は激減しているが相場は非常に厳しい。好調だったポーチユラカなどもだいぶ売れが鈍ってきた。プーゲンなども良品でも厳しい。ハイビスカスはまだ何とか売れている。梅雨明けも間近となる。雨がずっと続くよりははまだと信じて荷を集めていきたい。
	苗物	入荷は減っているものの日を追うごとに売れは鈍ってきている。特にキバナコスモスやペチュニア、キバナコスモスなどはまったく値段がつかない。ピンカはまだまだ量があり、良品でも競売では値段がつかない苦しい状況だ。
観 葉	大鉢・中鉢	だいぶ売れ行きは鈍い。グズマニアやアンズリウム、葉物観葉はまずまず引きもあり売れている。
	小鉢	中・大鉢同様の市況。品薄のポトスなどもよく売れている。シュガーバインやヘデラなどつる性のものの値段が下がってきた。
	ポット	花物に比べ売れてはいるが、つる性観葉、多肉類の動きが鈍くなり始めた。
	コチョウラン	徐々に大輪系は動きが鈍くなり始めた。ミディ系はまずまず。
洋 蘭	その他	グラマト類は全体的に売れが鈍いものの底値は何とか持ちこたえている。オンシなどは切れ間に入ってきた。
	総括	動きは鈍くなったもののまだラン類は持ちこたえている。夏場はもったきつくなるので早めの集荷・販売を心掛けたい。

### 販売状況コメント

6月の後半から日を追うごとに苦しい市況となっている。曇天ならまだまだが、雨が続くと本当に厳しい。花鉢はかなり量が減ったが相場はきつい。花苗はものによって全然値がつかないものも出てきている。観葉やランは少し鈍ってはいるものの花苗・花鉢よりはるかに売れている。通常梅雨明け後は販売が苦しくなるが雨続きよりははまだと信じて集荷・販売していきたい。

(株)フラワーオークションジャパン